

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター	2
岡山市	総合病院岡山市立市民病院（ 想定企業会計）	3
岡山市	岡山市立せのお病院（ 想定企 業会計）	4
岡山市	国立病院機構岡山市立金川病 院	5
倉敷市	倉敷市立市民病院	6
玉野市	玉野市民病院	7
笠岡市	笠岡市民病院	8
井原市	井原市民病院	9
高梁市	国保成羽病院	10
備前市	備前病院	11
備前市	日生病院	12
備前市	吉永病院	13
瀬戸内市	瀬戸内市立瀬戸内市民病院	14
真庭市	真庭市国民健康保険湯原温泉 病院	15
美作市	美作市立大原病院	16
矢掛町	国保病院	17
鏡野町	国保病院	18
岡山市久米南町国民健康 保険病院組合	国保福渡病院	19

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名					
病院名		地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
D P C対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄		ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄		救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
		地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数（％・日）				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

貸借対照表（千円）				
区分		決算額		
資産合計		-		
1 固定資産		-		
	(1) 有形固定資産	-		
	(2) 無形固定資産	-		
	(3) 投資その他の資産	-		
2 流動資産		-		
	(1) 現金及び預金	-		
	(2) 未収金及び未収収益	-		
	(3) 貸倒引当金（ ）	-		
	(4) 貯蔵品	-		
3 繰延資産		-		
負債合計		-		
1 固定負債		-		
	(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-		
	(2) その他の企業債	-		
	(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-		
	(4) その他の長期借入金	-		
	(5) 引当金	-		
	(6) リース債務	-		
2 流動負債		-		
	(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-		
	(2) その他の企業債	-		
	(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-		
	(4) その他の長期借入金	-		
	(5) 引当金	-		
	(6) リース債務	-		
	(7) 一時借入金	-		
	(8) 未払金及び未払費用	-		
	(9) 前受金及び前受収益	-		
3 繰延収益		-		
	(1) 長期前受金	-		
	(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-		
	(3) 繰延運営権対価	-		
	(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）	-		
	(5) 運営権者更新投資	-		
	(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）	-		
資本合計		-		
1 資本金		-		
2 剰余金		-		
	(1) 資本剰余金	-		
	(2) 利益剰余金	-		
負債・資本合計		-		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額（ ）		-		
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）		-		
備考				

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率（％）
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（％）	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率（％）	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率（％）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。			
---	--	--	--

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		岡山市			
病院名		総合病院岡山市立市民病院(想定企業会計)			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

貸借対照表(千円)				
区分			決算額	
資産合計			-	
1 固定資産			-	
(1) 有形固定資産			-	
(2) 無形固定資産			-	
(3) 投資その他の資産			-	
2 流動資産			-	
(1) 現金及び預金			-	
(2) 未収金及び未収収益			-	
(3) 貸倒引当金()			-	
(4) 貯蔵品			-	
3 繰延資産			-	
負債合計			-	
1 固定負債			-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債			-	
(2) その他の企業債			-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金			-	
(4) その他の長期借入金			-	
(5) 引当金			-	
(6) リース債務			-	
2 流動負債			-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債			-	
(2) その他の企業債			-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金			-	
(4) その他の長期借入金			-	
(5) 引当金			-	
(6) リース債務			-	
(7) 一時借入金			-	
(8) 未払金及び未払費用			-	
(9) 前受金及び前受収益			-	
3 繰延収益			-	
(1) 長期前受金			-	
(2) 長期前受金収益化累計額()			-	
(3) 繰延運営権対価			-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()			-	
(5) 運営権者更新投資			-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()			-	
資本合計			-	
1 資本金			-	
2 剰余金			-	
(1) 資本剰余金			-	
(2) 利益剰余金			-	
負債・資本合計			-	
不良債務			-	
実質資金不足額			-	
資本不足額()			-	
資本不足額(繰延収益控除後)()			-	
備考				
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	4890.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	40,126			
1 経常収益	40,126			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	40,126			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	40,126			
2 経常費用	40,126			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	55.7
材料費	-	-	26.9	28.9
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	12.7
減価償却費	-	-	8.5	7.9
経費	-	-	21.5	18.1
(うち委託料)	-	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	40,126			
(うち支払利息)	40,126	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-		
	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.5
医業収支比率	-		86.0	90.0
修正医業収支比率	-		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	88.1

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		岡山市			
病院名		岡山市立せのお病院(想定企業会計)			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		-		
1 固定資産		-		
(1) 有形固定資産		-		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		-		
(1) 現金及び預金		-		
(2) 未収金及び未収収益		-		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		-		
3 繰延資産		-		
負債合計		-		
1 固定負債		-		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		-		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		-		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		-		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		-		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		-		
(1) 長期前受金		-		
(2) 長期前受金収益化累計額()		-		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		-		
1 資本金		-		
2 剰余金		-		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		-		
負債・資本合計		-		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。			

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4890.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考:	
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。	

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		岡山市			
病院名		国立病院機構岡山市立金川病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,592㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13：1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院				

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	30	61.7	71.4	66.3	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	30	61.7	71.4	66.3	
平均在院日数(一般病床のみ)		31.1	35.2	31.7	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				625,743	
1 固定資産				625,443	
(1) 有形固定資産				625,443	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				300	
(1) 現金及び預金				300	
(2) 未収金及び未収収益				-	
(3) 貸倒引当金()				-	
(4) 貯蔵品				-	
3 繰延資産				-	
負債合計				507,900	
1 固定負債				481,700	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				481,700	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				23,500	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				23,200	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				-	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				2,700	
(1) 長期前受金				160,382	
(2) 長期前受金収益化累計額()				157,682	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				117,843	
1 資本金				419,892	
2 剰余金				-302,049	
(1) 資本剰余金				22	
(2) 利益剰余金				-302,071	
負債・資本合計				625,743	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	54,410	64,971
資本勘定繰入	12,328	24,657
計	66,738	89,628

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4890.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考:					
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。					

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		倉敷市			
病院名		倉敷市立市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,117㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	198	60.5	62.1	66.3	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	198	60.5	62.1	66.3	
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	14.9	14.7	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				10,704,266	
1 固定資産				7,703,810	
(1) 有形固定資産				7,703,810	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				3,000,456	
(1) 現金及び預金				2,615,231	
(2) 未収金及び未収収益				382,577	
(3) 貸倒引当金()				3,844	
(4) 貯蔵品				6,492	
3 繰延資産				-	
負債合計				10,584,477	
1 固定負債				7,675,759	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				6,118,307	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				591,867	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				965,585	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				1,306,267	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				316,198	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				27,895	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				153,516	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				792,648	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,602,451	
(1) 長期前受金				2,363,365	
(2) 長期前受金収益化累計額()				760,914	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				119,789	
1 資本金				2,527,759	
2 剰余金				-2,407,970	
(1) 資本剰余金				168,763	
(2) 利益剰余金				-2,576,733	
負債・資本合計				10,704,266	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	236,074	239,979
資本勘定繰入	153,996	153,996
計	390,070	393,975

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	80.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)

都道府県名

岡山県

市町村・組合名

玉野市

病院名

玉野市民病院

施設及び業務概況等

法適用区分

特殊診療機能

病院区分

不採算地区病院

建物面積

-㎡

不採算地区中核病院

診療科数

-

指定病院の状況

許可公営企業

看護配置

DPC対象病院

-

経営形態

直営

類似区分

100床以上～200床未満

損益計算書

(千円・%)

区分

決算額

費用
医業収益

全国平均

類似平均

総収益

768

1 経常収益

768

(1) 医業収益

-

(うち修正医業収益)

-

入院収益

-

外来収益

-

診療収入計

-

繰延運営権対価収益

-

運営権者更新投資収益

-

その他医業収益

-

(うち他会計負担金)

-

(2) 医業外収益

768

(うち国・都道府県補助金)

-

(うち他会計補助・負担金)

-

(うち長期前受金戻入)

-

(うち資本費繰入収益)

-

(3) 特別利益

-

(うち他会計繰入金)

-

総費用

768

2 経常費用

768

(1) 医業費用

-

職員給与費

-

-

58.7

67.7

材料費

-

-

26.9

18.3

(うち薬品費)

-

-

14.8

8.6

(うち薬品費以外の医薬材料費)

-

-

11.7

9.1

減価償却費

-

-

8.5

10.3

経費

-

-

21.5

29.4

(うち委託料)

-

-

11.5

13.6

研究研修費

-

資産減耗費

-

(2) 医業外費用

768

(うち支払利息)

768

-

0.9

1.1

(3) 特別損失

-

損益

経常損益

-

純損益

-

累積欠損金

-

経常収支比率

100.0

96.5

95.4

医業収支比率

-

86.0

79.1

修正医業収支比率

-

83.2

74.9

他会計繰入金対経常収益比率

-

11.5

17.0

他会計繰入金対医業収益比率

-

13.7

21.8

他会計繰入金対総収益比率

-

11.5

17.1

実質収益対経常費用比率

100.0

85.4

79.2

備考:

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄

指定病院の状況欄

ド…人間ドック透…人工透析I…ICU・CCU未…NICU・未熟児室訓…運動機能訓練室ガ…ガン(放射線)診療

救…救急告示病院臨…臨床研修病院が…がん診療連携拠点病院感…感染症指定医療機関へ…へき地医療拠点病院災…災害拠点病院

地…地域医療支援病院特…特定機能病院輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分

病床数

令和5年度

令和4年度

令和3年度

一般

-

-

-

-

療養

-

-

-

-

結核

-

-

-

-

精神

-

-

-

-

感染症

-

-

-

-

計

-

-

-

-

平均在院日数(一般病床のみ)

-

-

-

-

貸借対照表

(千円)

区分

決算額

資産合計

-

1 固定資産

-

(1) 有形固定資産

-

(2) 無形固定資産

-

(3) 投資その他の資産

-

2 流動資産

-

(1) 現金及び預金

-

(2) 未収金及び未収収益

-

(3) 貸倒引当金()

-

(4) 貯蔵品

-

3 繰延資産

-

負債合計

-

1 固定負債

-

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

-

(2) その他の企業債

-

(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

-

(4) その他の長期借入金

-

(5) 引当金

-

(6) リース債務

-

2 流動負債

-

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

-

(2) その他の企業債

-

(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

-

(4) その他の長期借入金

-

(5) 引当金

-

(6) リース債務

-

(7) 一時借入金

-

(8) 未払金及び未払費用

-

(9) 前受金及び前受収益

-

3 繰延収益

-

(1) 長期前受金

-

(2) 長期前受金収益化累計額()

-

(3) 繰延運営権対価

-

(4) 繰延運営権対価収益化累計額()

-

(5) 運営権者更新投資

-

(6) 運営権者更新投資収益化累計額()

-

資本合計

-

1 資本金

-

2 剰余金

-

(1) 資本金剰余金

-

(2) 利益剰余金

-

負債・資本合計

-

不良債務

-

実質資金不足額

-

資本不足額()

-

資本不足額(繰延収益控除後)()

-

備考

設立団体の状況

人口(人)

56,531

決算規模(千円)

25,980,850

標準財政規模(千円)

15,555,103

財政力指数

0.52

経常収支比率(%)

95.1

健全化

実質赤字比率(%)

-

連結実質赤字比率(%)

-

判断比率

実質公債費比率(%)

4.3

将来負担比率(%)

-

他会計からの繰入状況(千円)

区分

基準額

実繰入額

収益勘定繰入

-

-

資本勘定繰入

-

-

計

-

-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度

不良債務額(千円)

不良債務比率(%)

令和5年度

-

-

令和4年度

-

-

令和3年度

-

-

資金不足等の状況

累積欠損金比率(%)

-

健全化法上の資金不足額(千円)

-

健全化法上の資金不足比率(%)

-

地財法上の資金不足額(千円)

-

地財法上の資金不足比率(%)

-

備考:

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		笠岡市			
病院名		笠岡市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,571㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック透…人工透析I…ICU・CCU未…NICU・未熟児室訓…運動機能訓練室ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院臨…臨床研修病院が…がん診療連携拠点病院感…感染症指定医療機関へ…へき地医療拠点病院災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院特…特定機能病院輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	60	92.5	98.6	93.3
療養	39	98.2	97.0	87.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	94.7	98.0	90.9
平均在院日数(一般病床のみ)		9.4	9.0	9.0

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		1,955,456		
1 固定資産		1,090,368		
(1) 有形固定資産		1,046,953		
(2) 無形固定資産		5,335		
(3) 投資その他の資産		38,080		
2 流動資産		865,088		
(1) 現金及び預金		587,778		
(2) 未収金及び未収収益		267,004		
(3) 貸倒引当金()		2,352		
(4) 貯蔵品		12,658		
3 繰延資産		-		
負債合計		1,078,693		
1 固定負債		676,853		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		318,822		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		358,031		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		260,080		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		62,275		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		84,366		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		107,222		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		141,760		
(1) 長期前受金		252,231		
(2) 長期前受金収益化累計額()		110,471		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		876,763		
1 資本金		3,971,087		
2 剰余金		-3,094,324		
(1) 資本剰余金		89,221		
(2) 利益剰余金		-3,183,545		
負債・資本合計		1,955,456		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

設立団体の状況		
人口(人)	46,088	
決算規模(千円)	26,287,188	
標準財政規模(千円)	13,548,567	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	48.2

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	472,255	474,805
資本勘定繰入	28,660	28,660
計	500,915	503,465

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	181.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		井原市			
病院名		井原市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,444㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	120	81.5	77.6	78.9	
療養	60	49.9	47.9	47.2	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	180	70.0	66.8	67.4	
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	15.4	15.1	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				4,203,371	
1 固定資産				2,716,895	
(1) 有形固定資産				2,175,908	
(2) 無形固定資産				352	
(3) 投資その他の資産				540,635	
2 流動資産				1,486,476	
(1) 現金及び預金				504,271	
(2) 未収金及び未収収益				956,105	
(3) 貸倒引当金()				226	
(4) 貯蔵品				25,518	
3 繰延資産				-	
負債合計				3,568,384	
1 固定負債				1,794,955	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,697,983	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				96,972	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				539,959	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				307,529	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				120,192	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				110,081	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,233,470	
(1) 長期前受金				2,887,209	
(2) 長期前受金収益化累計額()				1,653,739	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				634,987	
1 資本金				812,351	
2 剰余金				-177,364	
(1) 資本剰余金				7,738	
(2) 利益剰余金				-185,102	
負債・資本合計				4,203,371	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)			
区分	基準額	実繰入額	
収益勘定繰入	425,547	425,547	
資本勘定繰入	203,733	203,733	
計	629,280	629,280	

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：					
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。					

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		高梁市			
病院名		国保成羽病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,307㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	54	56.3	65.4	79.4	
療養	42	20.7	4.0	2.7	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	96	40.7	38.5	45.9	
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	26.3	25.7	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				3,756,216	
1 固定資産				2,498,466	
(1) 有形固定資産				2,281,172	
(2) 無形固定資産				9,066	
(3) 投資その他の資産				208,228	
2 流動資産				1,257,750	
(1) 現金及び預金				543,051	
(2) 未収金及び未収収益				709,343	
(3) 貸倒引当金()				67	
(4) 貯蔵品				5,423	
3 繰延資産				-	
負債合計				1,917,713	
1 固定負債				1,068,408	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,017,153	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				51,255	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				354,642	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				174,330	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				65,263	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				112,449	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				494,663	
(1) 長期前受金				1,163,134	
(2) 長期前受金収益化累計額()				668,471	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				1,838,503	
1 資本金				3,235,199	
2 剰余金				-1,396,696	
(1) 資本剰余金				21,981	
(2) 利益剰余金				-1,418,677	
負債・資本合計				3,756,216	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	238,427	316,180
資本勘定繰入	91,684	91,684
計	330,111	407,864

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	96.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考:	「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
-----	--

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		備前市			
病院名		備前病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,566㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック透…人工透析I…ICU・CCU末…NICU・未熟児室訓…運動機能訓練室ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院臨…臨床研修病院が…がん診療連携拠点病院感…感染症指定医療機関へ…へき地区医療拠点病院災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院特…特定機能病院輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（％・日）				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	46	57.4	43.2	67.4
療養	44	64.0	75.9	43.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	60.6	59.2	55.6
平均在院日数（一般病床のみ）		19.2	15.0	16.6

貸借対照表（千円）			
区分		決算額	
資産合計		8,934,525	
1 固定資産		6,972,555	
(1) 有形固定資産		5,258,161	
(2) 無形固定資産		1,868	
(3) 投資その他の資産		1,712,526	
2 流動資産		1,961,970	
(1) 現金及び預金		1,208,548	
(2) 未収金及び未収収益		711,959	
(3) 貸倒引当金（ ）		14,874	
(4) 貯蔵品		56,121	
3 繰延資産		-	
負債合計		4,314,663	
1 固定負債		2,438,690	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		2,320,411	
(2) その他の企業債		-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-	
(4) その他の長期借入金		-	
(5) 引当金		118,279	
(6) リース債務		-	
2 流動負債		660,331	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		249,735	
(2) その他の企業債		-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-	
(4) その他の長期借入金		-	
(5) 引当金		131,980	
(6) リース債務		-	
(7) 一時借入金		-	
(8) 未払金及び未払費用		277,616	
(9) 前受金及び前受収益		-	
3 繰延収益		1,215,642	
(1) 長期前受金		2,510,089	
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）		1,294,447	
(3) 繰延運営権対価		-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）		-	
(5) 運営権者更新投資		-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）		-	
資本合計		4,619,862	
1 資本金		5,606,664	
2 剰余金		-986,802	
(1) 資本剰余金		84,967	
(2) 利益剰余金		-1,071,769	
負債・資本合計		8,934,525	
不良債務		-	
実質資金不足額		-	
資本不足額（ ）		-	
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）		-	
備考			

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。		
---	--	--

設立団体の状況		
人口（人）	32,320	
決算規模（千円）	21,153,582	
標準財政規模（千円）	12,263,444	
財政力指数	0.41	
経常収支比率（％）	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（％）	-
	連結実質赤字比率（％）	-
	実質公債費比率（％）	9.1
	将来負担比率（％）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	137,062	140,913
資本勘定繰入	36,744	72,173
計	173,806	213,086

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（％）
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（％）	28.2
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（％）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（％）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費（経常的経費）に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

設 立 団 体 の 状 況		
人 口 (人)	32,320	
決 算 規 模 (千円)	21,153,582	
標 準 財 政 規 模 (千円)	12,263,444	
財 政 力 指 数	0.41	
経 常 収 支 比 率 (%)	88.9	
健全化 判断比率	実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	連 結 実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	実 質 公 債 費 比 率 (%)	9.1
	将 来 負 担 比 率 (%)	-

他 会 計 か ら の 繰 入 状 況 (千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	137,062	140,913
資 本 勘 定 繰 入	36,744	72,173
計	173,806	213,086

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資 金 不 足 等 の 状 況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	28.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	-

- 備考：
- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 - 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
 - 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
 - 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		備前市			
病院名		日生病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,545㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	40	55.5	56.9	63.7
療養	52	66.9	81.1	89.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	92	61.9	70.6	78.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	16.0	16.2

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		8,934,525		
1 固定資産		6,972,555		
(1) 有形固定資産		5,258,161		
(2) 無形固定資産		1,868		
(3) 投資その他の資産		1,712,526		
2 流動資産		1,961,970		
(1) 現金及び預金		1,208,548		
(2) 未収金及び未収収益		711,959		
(3) 貸倒引当金()		14,874		
(4) 貯蔵品		56,121		
3 繰延資産		-		
負債合計		4,314,663		
1 固定負債		2,438,690		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		2,320,411		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		118,279		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		660,331		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		249,735		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		131,980		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		277,616		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		1,215,642		
(1) 長期前受金		2,510,089		
(2) 長期前受金収益化累計額()		1,294,447		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		4,619,862		
1 資本金		5,606,664		
2 剰余金		-986,802		
(1) 資本剰余金		84,967		
(2) 利益剰余金		-1,071,769		
負債・資本合計		8,934,525		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				
---	--	--	--	--

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	154,410	154,410
資本勘定繰入	22,701	22,701
計	177,111	177,111

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	28.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		備前市			
病院名		吉永病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,550㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	20	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	50	82.3	84.8	87.6	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	50	82.3	84.8	87.6	
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	19.2	18.2	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				8,934,525	
1 固定資産				6,972,555	
(1) 有形固定資産				5,258,161	
(2) 無形固定資産				1,868	
(3) 投資その他の資産				1,712,526	
2 流動資産				1,961,970	
(1) 現金及び預金				1,208,548	
(2) 未収金及び未収収益				711,959	
(3) 貸倒引当金()				14,874	
(4) 貯蔵品				56,121	
3 繰延資産				-	
負債合計				4,314,663	
1 固定負債				2,438,690	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				2,320,411	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				118,279	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				660,331	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				249,735	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				131,980	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				277,616	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,215,642	
(1) 長期前受金				2,510,089	
(2) 長期前受金収益化累計額()				1,294,447	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				4,619,862	
1 資本金				5,606,664	
2 剰余金				-986,802	
(1) 資本剰余金				84,967	
(2) 利益剰余金				-1,071,769	
負債・資本合計				8,934,525	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	102,346	102,346
資本勘定繰入	28,702	28,702
計	131,048	131,048

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：					
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。					

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		瀬戸内市			
病院名		瀬戸内市立瀬戸内市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,803㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	110	78.8	72.9	79.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	110	78.8	72.9	79.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	15.4	15.7

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		4,137,267		
1 固定資産		2,996,816		
(1) 有形固定資産		2,398,570		
(2) 無形固定資産		51,442		
(3) 投資その他の資産		546,804		
2 流動資産		1,140,451		
(1) 現金及び預金		905,672		
(2) 未収金及び未収収益		233,082		
(3) 貸倒引当金()		1,882		
(4) 貯蔵品		3,552		
3 繰延資産		-		
負債合計		2,772,918		
1 固定負債		2,104,714		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		1,960,458		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		144,256		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		244,795		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		96,319		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		74,464		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		65,623		
(9) 前受金及び前受収益		163		
3 繰延収益		423,409		
(1) 長期前受金		573,691		
(2) 長期前受金収益化累計額()		150,282		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		1,364,349		
1 資本金		1,969,465		
2 剰余金		-605,116		
(1) 資本剰余金		1,075		
(2) 利益剰余金		-606,191		
負債・資本合計		4,137,267		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,750,977			
1 経常収益	1,750,454			
(1) 医業収益	1,542,716			
(うち修正医業収益)	1,494,499			
入院収益	1,058,134			
外来収益	323,567			
診療収入計	1,381,701			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	161,015			
(うち他会計負担金)	48,217			
(2) 医業外収益	207,738			
(うち国・都道府県補助金)	42,323			
(うち他会計補助・負担金)	121,873			
(うち長期前受金戻入)	19,353			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	523			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,858,877			
2 経常費用	1,858,060			
(1) 医業費用	1,759,310			
職員給与費	988,314	64.1	58.7	67.7
材料費	130,216	8.4	26.9	18.3
(うち薬品費)	54,354	3.5	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	73,010	4.7	11.7	9.1
減価償却費	154,382	10.0	8.5	10.3
経費	483,573	31.3	21.5	29.4
(うち委託料)	210,694	13.7	11.5	13.6
研究研修費	2,671			
資産減耗費	154			
(2) 医業外費用	98,750			
(うち支払利息)	10,342	0.7	0.9	1.1
(3) 特別損失	817			
損益	経常損益	-107,606		
	純損益	-107,900		
累積欠損金	606,191			
経常収支比率	94.2		96.5	95.4
医業収支比率	87.7		86.0	79.1
修正医業収支比率	84.9		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	9.7		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	85.1		85.4	79.2

備考：		
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。		

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	169,922	170,090
資本勘定繰入	43,517	43,517
計	213,439	213,607

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	39.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		真庭市			
病院名		真庭市国民健康保険湯原温泉病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	9,830㎡	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	50	57.9	57.7	51.8	
療養	55	47.9	49.0	44.9	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	105	52.7	53.1	48.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	19.0	18.6	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				4,481,267	
1 固定資産				2,370,577	
(1) 有形固定資産				2,362,664	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				7,913	
2 流動資産				2,110,690	
(1) 現金及び預金				2,005,247	
(2) 未収金及び未収収益				91,522	
(3) 貸倒引当金()				1,054	
(4) 貯蔵品				14,975	
3 繰延資産				-	
負債合計				1,735,868	
1 固定負債				993,024	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				788,840	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				204,184	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				266,265	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				120,275	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				52,372	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				93,618	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				476,579	
(1) 長期前受金				601,836	
(2) 長期前受金収益化累計額()				125,257	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				2,745,399	
1 資本金				2,397,550	
2 剰余金				347,849	
(1) 資本剰余金				33,152	
(2) 利益剰余金				314,697	
負債・資本合計				4,481,267	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	334,243	334,374
資本勘定繰入	76,453	78,023
計	410,696	412,397

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		美作市			
病院名		美作市立大原病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,642㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	40	84.3	81.1	78.7	
療養	40	81.4	86.0	93.4	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	80	82.9	83.6	86.0	
平均在院日数(一般病床のみ)		12.8	14.0	15.7	

貸借対照表					(千円)
区分					決算額
資産合計					4,721,829
1 固定資産					1,873,322
(1) 有形固定資産					1,469,085
(2) 無形固定資産					-
(3) 投資その他の資産					404,237
2 流動資産					2,848,507
(1) 現金及び預金					2,699,514
(2) 未収金及び未収収益					149,231
(3) 貸倒引当金()					3,500
(4) 貯蔵品					3,262
3 繰延資産					-
負債合計					963,186
1 固定負債					718,562
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債					542,483
(2) その他の企業債					-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金					-
(4) その他の長期借入金					-
(5) 引当金					176,079
(6) リース債務					-
2 流動負債					73,646
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債					-
(2) その他の企業債					-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金					-
(4) その他の長期借入金					-
(5) 引当金					37,463
(6) リース債務					-
(7) 一時借入金					-
(8) 未払金及び未払費用					36,089
(9) 前受金及び前受収益					-
3 繰延収益					170,978
(1) 長期前受金					499,502
(2) 長期前受金収益化累計額()					328,524
(3) 繰延運営権対価					-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()					-
(5) 運営権者更新投資					-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()					-
資本合計					3,758,643
1 資本金					1,496,462
2 剰余金					2,262,181
(1) 資本剰余金					49,254
(2) 利益剰余金					2,212,927
負債・資本合計					4,721,829
不良債務					-
実質資金不足額					-
資本不足額()					-
資本不足額(繰延収益控除後)()					-
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	285,345	285,345
資本勘定繰入	22,311	22,311
計	307,656	307,656

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		矢掛町			
病院名		国保病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,875㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	57	84.4	85.7	88.5
療養	60	72.5	78.8	85.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	117	78.3	82.1	87.0
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	22.3	21.9

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		3,788,251		
1 固定資産		3,002,955		
(1) 有形固定資産		1,407,562		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		1,595,393		
2 流動資産		785,296		
(1) 現金及び預金		476,392		
(2) 未収金及び未収収益		301,378		
(3) 貸倒引当金()		510		
(4) 貯蔵品		8,036		
3 繰延資産		-		
負債合計		1,864,800		
1 固定負債		1,352,356		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		1,018,420		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		333,936		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		256,079		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		127,602		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		57,910		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		60,231		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		256,365		
(1) 長期前受金		534,589		
(2) 長期前受金収益化累計額()		278,224		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		1,923,451		
1 資本金		1,960,491		
2 剰余金		-37,040		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		-37,040		
負債・資本合計		3,788,251		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	194,483	193,900
資本勘定繰入	76,085	76,000
計	270,568	269,900

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,666,085			
1 経常収益	1,658,557			
(1) 医業収益	1,384,878			
(うち修正医業収益)	1,332,878			
入院収益	972,831			
外来収益	312,656			
診療収入計	1,285,487			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	99,391			
(うち他会計負担金)	52,000			
(2) 医業外収益	273,679			
(うち国・都道府県補助金)	36,052			
(うち他会計補助・負担金)	141,900			
(うち長期前受金戻入)	28,738			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,528			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,719,904			
2 経常費用	1,719,904			
(1) 医業費用	1,637,782			
職員給与費	1,069,031	77.2	58.7	67.7
材料費	177,768	12.8	26.9	18.3
(うち薬品費)	68,016	4.9	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	87,171	6.3	11.7	9.1
減価償却費	113,752	8.2	8.5	10.3
経費	273,912	19.8	21.5	29.4
(うち委託料)	122,468	8.8	11.5	13.6
研究研修費	2,464			
資産減耗費	855			
(2) 医業外費用	82,122			
(うち支払利息)	19,957	1.4	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常	常損益	-61,347		
純	損益	-53,819		
累積欠損金	187,240			
経常収支比率	96.4		96.5	95.4
医業収支比率	84.6		86.0	79.1
修正医業収支比率	81.4		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	14.0		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	11.6		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	85.2		85.4	79.2

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		鏡野町			
病院名		国保病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,062㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	48	79.1	74.6	71.8	
療養	40	55.5	48.6	57.7	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	88	68.4	62.8	65.4	
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	19.4	18.4	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				2,583,566	
1 固定資産				713,796	
(1) 有形固定資産				713,086	
(2) 無形固定資産				710	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				1,869,770	
(1) 現金及び預金				1,669,826	
(2) 未収金及び未収収益				199,189	
(3) 貸倒引当金()				5,761	
(4) 貯蔵品				6,516	
3 繰延資産				-	
負債合計				476,937	
1 固定負債				137,707	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				105,327	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				32,380	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				169,541	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				10,527	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				62,108	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				96,906	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				169,689	
(1) 長期前受金				738,465	
(2) 長期前受金収益化累計額()				568,776	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				2,106,629	
1 資本金				1,323,623	
2 剰余金				783,006	
(1) 資本剰余金				4,301	
(2) 利益剰余金				778,705	
負債・資本合計				2,583,566	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	37,960	40,904
資本勘定繰入	32,279	51,356
計	70,239	92,260

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：					
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。					

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		岡山市久米南町国民健康保険病院組合			
病院名		国保福渡病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,860㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

病床利用率・平均在院日数（％・日）				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	52	52.5	56.9	51.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	52.5	56.9	51.1
平均在院日数（一般病床のみ）		29.8	29.1	28.0

貸借対照表（千円）				
区分		決算額		
資産合計		1,580,690		
1 固定資産		784,197		
(1) 有形固定資産		709,338		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		74,859		
2 流動資産		796,493		
(1) 現金及び預金		703,356		
(2) 未収金及び未収収益		89,073		
(3) 貸倒引当金（ ）		1,979		
(4) 貯蔵品		5,978		
3 繰延資産		-		
負債合計		432,744		
1 固定負債		202,631		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		202,631		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		140,759		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		50,316		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		31,967		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		54,825		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		89,354		
(1) 長期前受金		171,276		
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）		81,922		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）		-		
資本合計		1,147,946		
1 資本金		1,441,716		
2 剰余金		-293,770		
(1) 資本剰余金		5,063		
(2) 利益剰余金		-298,833		
負債・資本合計		1,580,690		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額（ ）		-		
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）		-		
備考				

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	191,531	192,738
資本勘定繰入	41,261	42,789
計	232,792	235,527

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率（％）
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（％）	77.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率（％）	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率（％）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。
